

30302機械器具設置工事業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	8 ~ 9	営業所前で自家用車を降りたときに、路面が凍結していて、両足を取られて転倒した際、左側から体を打ち付け、左上腕骨近位端骨折を負った。	45	2	719	100 ~ 299
2	2020	1	15 ~ 16	敷地内で、ダンプに積んでいた廃棄物を降ろすため荷台に上がった際、途中で足を滑らせ2mの高さから落下し、胸を強打して左肋骨を折った。	40	1	221	10 ~ 29
3	2020	1	10 ~ 11	下水道事務所で焼却設備の排煙処理塔循環ポンプの整備中に、作業場所確保で取り外したドレン配管が苛性ソーダと知らずに接触し、臀部に化学熱傷を負った。	48	12	519	100 ~ 299
4	2020	1	16 ~ 17	出荷の準備作業で製品の入った箱(8~20kg)をパレットに積み込む作業をしていたところ、段々と左手首と左肘に痛みが出て、上腕骨外上顆炎、左手関節靭帯炎を発症した。	58	19	611	50 ~ 99
5	2020	1	13 ~ 14	塵芥焼却場で空気予熱器の伝熱管を取り替えるため、伝熱管を1Fから4Fステージへ荷揚げする際、電動チェーンブロックのフックに掛けられたスリングベルトが抜け、伝熱管が落下した。伝熱管が跳ね上がって右足に当たり、骨折して挫滅創を負った。	27	4	372	1~ 9
6	2020	1	17 ~ 18	工場内で、溶体化炉の建設工事中、レバーブロックを取り出す際、スプロケットとチェーンの間に右手中指を挟み裂傷を負った。	26	7	341	50 ~ 99
			8	朝礼広場で搬入物(重量約400kg)を台車で移動中、水勾配部でバ				1~

7	2020	1	9	ランスを崩し台車が転倒した。その際、被災者が重量物を支えようとして左足を一時的に挟まれ脛部を骨折した。	21	5	362	9
8	2020	1	10 ～ 11	排水機場で部品取替作業中、水槽内部に下りる際にはしごが滑り落下して、眼底、頬骨、踵、肋骨および鎖骨を折った。	45	1	371	1～ 9
9	2020	1	9 ～ 10	図書館で、天井の空調機フィルターを取り外す際、脚立から足が滑り転落し、左橈骨遠位端骨を折り、左下腿圧挫創を負った。	38	1	371	10 ～ 29
10	2020	1	13 ～ 14	プラント内を移動中、階段を下りる際、長靴の踵底が引っ掛かり、階段下床面に膝をつき、左膝蓋骨折・左膝挫創を負った。	42	2	413	1～ 9
11	2020	1	9 ～ 10	牛舎改修工事で、タイヤショベルのバケットから降りるとき、バランスを崩して転落したため、第11胸椎、第3腰椎体圧迫骨折を負った。	67	1	141	1～ 9
12	2020	2	11 ～ 12	サイロおよび灰輸送設備工事で、電気室ケーブルトレイ上部で光ケーブルの行き先確認中、安全帯を外して四つん這いで移動後にケーブルにつまずき、体勢を崩して35mのケーブルトレイ上より墜落し、左鎖骨近位端、左甲骨を折った。	58	1	359	10 ～ 29
13	2020	2	14 ～ 15	工場内通路にてハンドフォークリフトで制御盤を設置場所へ運送中、バランスを崩して左前方へ転倒し、前方で支えていた作業員の右足に接触し、右足膝裏関節を亀裂骨折した。	37	4	612	10 ～ 29
14	2020	2	9 ～ 10	構内で、資機材を運搬するため、空の4輪平台車を中腰の姿勢で押して移動した。その際に体勢が崩れ、柱と台車の間に左手中指を挟んで骨折した。	22	7	362	10 ～ 29
15	2020	2	13 ～ 14	軟化器内部の水抜きをするため、脚立に立て掛けた軟化器を2人で傾けたところ、軟化器が滑って倒れそうになった。その際、支えていた手が軟化器と脚立の間に挟まり、右手薬指を骨折した。	40	7	612	1～ 9

24	2020	3	15 ～ 16	歩廊ブロック（1,700mm×20,000mm、2.7t）を4台の台車で搬入する作業中、養生鉄板の段差に台車の車輪が引っ掛かり、台車から歩廊ブロックがズレ落ちて左足が挟まれて、親指・人差し指を切断、中指を骨折した。	26	4	521	1～ 9
25	2020	3	11 ～ 12	工場内で、設備機器改造工事の際に移動中、後ろから呼びかけられて振り返ったところ、バランスを崩して転倒し、右大腿部を骨折した。	63	2	417	100 ～ 299
26	2020	3	11 ～ 12	据付工事の作業中、車輪ホイール型プーリーと刃ベルトの間に挟まれ、左手指末節骨を折り、環指挫傷を負った。	26	7	121	10 ～ 29
27	2020	4	17 ～ 18	病院でMRI室内の既存内装材の解体作業をしているときに、壁にビスで固定していた磁気シールド材料（ケイ素鋼板）が倒れてきたため、脚立から飛び下りて地面に着地した際、左足踵を骨折した。	63	1	371	1～ 9
28	2020	4	15 ～ 16	ガス給湯器取り付け工事で、外壁に壁掛けタイプの給湯器の取り付け作業中、脚立から下りる際、足を踏み外して肩と左膝を地面にぶつけ、左膝の靭帯損傷を負った。	64	1	371	1～ 9
29	2020	4	9 ～ 10	駐車場にて、1.5tトラックの車内清掃で稼働タイプの椅子を持ち上げたとき、手が離れて、落下してきた椅子の止め金に指を挟まれ、右手薬指第一関節裂傷を負った。	40	7	612	1～ 9
30	2020	4	11 ～ 12	杭打機組み立て作業中、機械本体側上部に乗り、根本ソーターを本体に取り付けるため、上部ボルトをラジエツトスパナで締め付け作業を行っていたところ、ラジエツトスパナがボルトから外れ、その反動で転落した。その際、安全帯は着用していたが、安全帯の取り付け箇所が腰より低い位置があったため、反動で倒れたときに横転転落し、敷鉄板に頭部を強打し、右前頭部に急性硬膜下血腫を発症した。	44	1	143	10 ～ 29
				仮設材の荷降ろしのためフォークリフトの誘導を行っていた。作業前に運転手と誘導者（被災者）は、曲がったロープスティックがあ				

31	2020	4	9 ～ 10	<p>ることは気が付いていたが、勝手に撤去してはいけないと考えそのまま作業を行っていた。その際、フォークリフトが後退するとき、被災者が後退りしたところ、曲がったロープスティックに足を取られて転倒し、左足を脱臼骨折した。</p>	50	2	391	1～ 9
32	2020	4	9 ～ 10	<p>施設配管工事で、配管を据付作業中、配管の先端に当たり、左環指・左示指・左中指に挫創を負った。</p>	55	8	612	1～ 9
33	2020	4	16 ～ 17	<p>資材置場で整理中、立て掛けていたベニヤ板（高さ180cm×横20cm×厚さ24mm）が倒れ、左手親指に当たり、打撲を負った。</p>	22	4	522	1～ 9
34	2020	4	10 ～ 11	<p>エアコン取付工事中、室外機のパイプカバーが垂直になっているか、目視しながら後方に下がった際、ブロックにつまずき2m位下のコンクリートに落下し、右鎖骨・右肋骨を折った。</p>	47	1	418	1～ 9
35	2020	5	9 ～ 10	<p>ベルトコンベアのフレーム入れ替え修理のため、チャンネル鋼をベルトコンベア上で徐々に滑らせて運んでいたところ、前方の作業者が手を滑らせて鋼材を離してしまい、滑ってきた鋼材が臀部に当たり尾てい骨に亀裂骨折を負った。</p>	45	6	521	1～ 9
36	2020	5	15 ～ 16	<p>石油化学工場の現場で玉掛け作業中、化学反応による爆発が起こり、炎に巻き込まれ、顔、首、手を火傷した。</p>	19	14	512	1～ 9
37	2020	5	14 ～ 15	<p>倉庫内で木枠解体中に曲がった針を打ち抜こうとした際、指をハンマーで打ち、右母指末節骨を折った。</p>	38	3	364	1～ 9
38	2020	5	13 ～ 14	<p>工場で溶接作業中、中腰での作業が長時間続いていたため腰に違和感を持ち、腰椎椎間板ヘルニアと診断された。</p>	32	19	332	1～ 9
			11					

39	2020	5	12	駐車していた車の助手席を開けたところ、左眉付近にドア上部が当たり、切傷を負った。	48	3	231	1～9
40	2020	5	17	駐車場で、エアコンをトラック荷台から降ろし、立ったまま荷台から降りたため、着地の際、足をひねり左足首に靭帯損傷を負った。	22	3	221	1～9
41	2020	5	18	翌日の現場確認作業中、オイルパンのドレンノズルにつまづき、後ろ向きに転倒し、左腎損傷を負った。	45	2	418	30～49
42	2020	6	11	製作所構内でトラックを誘導作業中、背部にあった電柱とトラックの後部に挟まれ、左側頭部陥没骨折および左頬骨弓骨折を負った。	35	7	221	1～9
43	2020	6	19	現場で、ルームエアコンの取り外しのため、屋根に上がった際、足を滑らせ1階地面へ転落し、頭、顔等を打ち、急性クモ膜下出血、骨折を負った。	37	1	415	1～9
44	2020	6	12	工場で、ポリエチレンタンク更新工事中、古いタンク（直径2800φ、高さ4m）をベビーサンダーで解体切断しているとき、ベビーサンダーが根詰まりし、サンダーが弾かれて左手薬指に当たり、切傷を負った。	26	8	153	1～9
45	2020	6	12	住宅改修工事現場で、在来の風呂場を解体中、タイル張りの部分をハンマーで叩いて壊していたところ、表面のタイルが割れて飛び、破片が右目に当たり、角膜裂傷・眼球外傷を負った。	17	4	364	—
46	2020	6	14	冷凍庫内ではしごを登っていた際、床が凍っていたためはしごが滑って倒れ、転倒して足を骨折した。	38	1	371	10～29
47	2020	7	11	屋外大型機械の上部（地上約5m）で、部品清掃作業のため、身近な配管へ安全帯を掛けて、同配管を掴んで一段下りようとしたが、配管が腐食しており、配管ごとコンクリート床に転落して、頬骨を折	47	1	391	1～9

			12	り、全身打撲を負った。				
48	2020	7	14 ～ 15	スキー場ペアリフト支えい索切詰工事で、切詰作業を実施し、予備エンジンを動かし、切詰箇所を低速で移動させていた際、折り畳み脚立台に乗り作業箇所の確認をしていたところ、取り付けていた作業ワイヤーが脚立台に接触し、転倒して、右肘橈骨頸部を折った。	31	1	371	1～ 9
49	2020	7	14 ～ 15	養豚場の敷地内で片付け作業中、2tトラックの荷台に乗り養豚場用の扉を積んだ後、小雨が降っていたからか、閉めた後部アオリ（地以上1.3m）から落下し、尻もちをつき仙骨挫傷を負った。	68	1	221	1～ 9
50	2020	7	15 ～ 16	仕事先のコインランドリーで、エアコンの室内機点検中、ガス配管の漏れをチェックしていた。その際、ガスを締め過ぎたため、配管が折れてガスが吹き出し、両手で押さえたところ、手袋を着用していたが、両手掌部に熱傷を負った。	46	11	519	1～ 9
51	2020	7	11 ～ 12	工場設備工事で、現場で使用する現場用の治具パイプをサンダーで加工の際、右手母指に切創および右手母指伸筋腱に挫創を負った。	54	8	159	1～ 9
52	2020	7	13 ～ 14	配管・ダクト工事現場で足場上に2人の作業員が上がり、一組で作業中、1人はドリルを使用して開口作業を行い、被災者はドリルの刃と部材の冷却のため、放水作業を行っていた。そのとき、ドリルの刃が部材に食い込み、ドリルが跳ね上げられ、作業員の手を離れ、冷却作業中の被災者の手に当たり、右手示指を骨折した。	37	4	169	10 ～ 29
53	2020	7	11 ～ 12	ゴミ焼却場で、工場製作した水冷ジャケット（1310mm×1800mm×950mm、約1.6t）を4名で場内へ搬入していた。台車の上に木製角材を載せて高さを調整し、その上にチェンブロックで吊りながら水冷ジャケットを載せた後、チェンブロックを外した。その際、水冷ジャケットがバランスを崩して倒れ、被災者が下敷きになり、多発外傷により死亡した。	46	5	612	1～ 9
			15	工場で、ダンプ車側面のアオリ部コボレーンに手を掛け、荷台上の				10

54	2020	7	16	～	コンクリートガラから鉄筋を取り除く際、体勢を崩し、コボレーンが外側に開き転倒した。このとき、左背部に挫傷を負った。	61	1	221	～	29
55	2020	7	11	～	電気室で搬出作業中、ジャッキアップした際、バランスを崩し制御盤が転倒し、制御盤と床に挟まれた。このとき、肋骨と腰骨を折り、肝臓出血、肺損傷、右腕に裂傷を負った。	54	5	612	～	29
56	2020	7	23	～	倉庫で、撤去した製造機をユニックから降ろす際、荷台から足が滑らせ落下し、頭部打撲傷、外傷性腰部症候群を負った。	43	1	212	1～	9
57	2020	7	16	～	ボイラ火炉壁に取り付けのデスラッグについて、現場（気温42.4℃、湿度42.1%、WBGT34.8℃）で約3時間打ち合わせを行っていた。現場から引き揚げるとき、体調不良で意識混濁・全身の痙攣が起こり、重度の熱中症になった。	34	11	715	～	299
58	2020	7	15	～	業務用エアコンの室外機（約60kg）の設置作業中、車から設置場所まで約30mを2人がかりで運搬していたところ、腰に痛みが生じて椎間板ヘルニアを負った。	40	19	612	1～	9
59	2020	7	15	～	休憩を取るため、両手で手摺をつかみ階段を下りているとき、踏み外して左足が滑り体勢が崩れて、右足膝を打ち付けながら滑り落ちて、右膝前十字靭帯を損傷した。	37	1	413	1～	9
60	2020	8	13	～	下水処理場の機械濃縮設備の整備中、設備内でスプレー缶を使用したことにより、可燃性ガスが設備内に充満していた。火気を使用した際に爆発し、熱波で顔面と手足に火傷を負った。	31	14	512	1～	9
61	2020	8	13	～	下水処理場の機械濃縮設備の整備中、設備内でスプレー缶を使用したことにより、可燃性ガスが設備内に充満していた。火気を使用した際に爆発し、熱波で顔面と手足に火傷を負った。	28	14	512	1～	9
62	2020	8	13	～	下水処理場の機械濃縮設備の整備中、設備内でスプレー缶を使用したことにより、可燃性ガスが設備内に充満していた。火気を使用した際に爆発し、熱波で顔面と手足に火傷を負った。	31	14	512	1～	9

63	2020	8	17 ～ 18	発電所の建屋内で作業用足場の仮設準備中に、循環水管の上に立って足場材を手渡ししようとしたとき、足を滑らせて落下し、顎を打った。その反動で循環水管に後頭部を打ちつけ、頸髄を損傷した。	21	1	319	1～ 9
64	2020	8	12 ～ 13	敷地内で、作業車から廃棄エアコンを降ろす際、腰をひねり腰痛症を負った。	44	19	612	1～ 9
65	2020	8	10 ～ 11	屋根の上で、太陽熱温水器を運搬中、足が滑り屋根から落下し、1階の屋根で跳ね、衝撃でヘルメットが外れ地面に落下した。その際、頭部裂傷し、頭蓋骨を折り、全身打撲、右目失明を負った。	31	1	415	1～ 9
66	2020	8	16 ～ 17	工事現場で、タンク内でSUS板をベビーサンダーで撤去中、狭い場所ベビーサンダーが内部構造物に当たって跳ね返り、左人差し指に当たり裂傷を負った。	39	8	153	1～ 9
67	2020	8	10 ～ 11	休憩が終わり、2Fから1Fへ階段を下りる際、雨により階段で足が滑り踊り場まで落ち、腰部打撲、腰椎捻挫を負った。	21	1	413	100 ～ 299
68	2020	9	17 ～ 18	基礎底部へ下りる際、レベル確認用鉄筋を踏んで右足裏に裂創を負った。	26	9	521	30 ～ 49
69	2020	9	16 ～ 17	発電所建設現場の建物5階より1階へケーブルトレイ工事関連資材の荷下ろし作業（ペール缶2個、荷揚げ袋）を行っていた。その際、吊り荷が2階の手すりに接触し、中に入っていた溶接棒容器（約1.73kg）が落下の途中で他所に当たり、反動で頭部に当たり、頸部と頭部に挫傷を負った。	39	4	379	1～ 9
70	2020	9	17 ～ 18	退勤時、左手に持った入構カードをカードリーダーにかざそうとした際に、足下のゴムマットにつまずいて前に転倒し、ついた左手と、ゲート支柱に当たった額全体を負傷し、左上腕骨折、前頭部打撲を負った。	63	2	417	100 ～ 299

71	2020	9	9 ~ 10	ボイラ移動中、ボイラ室出入口付近で段差を避けるため、コロ引き用スピードローラーの位置を段差の後方から前方へ掛け変えをするため、ハンドリフトで後方ボイラベース中央付近をジャッキアップし、スピードローラーの受け渡しをしていた。そのとき、ボイラが傾き始め被災者の上に転倒し、挟まれて頸椎開放性脱臼骨折を負い、死亡した。	31	6	611	1~ 9
72	2020	9	11 ~ 12	最終沈殿池の既設レールを撤去するため、床コンクリートの斫り作業をしていた。斫り機の先端部分（チゼル）に右足を添えていたところ、チゼルが金属疲労により折れた。その際、チゼルが右足に当たり、中足骨を折った。	38	4	145	1~ 9
73	2020	9	16 ~ 17	敷地内で、工事状況を電話報告中、後退してきたトラックと衝突した。その際、首、腰、両腕、右手、右胸、左膝に打撲傷を負った。	23	6	221	10 ~ 29
74	2020	9	17 ~ 18	事務所で、脚立に乗りアンテナを設置する作業中、脚立（2m）が倒れ転落し、右上腕を強打し、骨折した。	29	1	371	1~ 9
75	2020	9	11 ~ 12	ボイラー室で、整備作業中、管寄せヘッダー用ケーシングを外し、安全帯を外し下りる際、ケーシングが落下し、体に当たり、バランスを崩して落下（高さ1.5m）した。このとき、臀部・腰に打撲を負った。	55	1	529	30 ~ 49
76	2020	9	10 ~ 11	ゴミ捨てに行くため段ボールを持って階段を下りていた際、転倒して右肩を強打し、腱板断裂を負った。	68	1	413	10 ~ 29
77	2020	9	14 ~ 15	機器吊上げ用架台の撤去作業時、架台のベース一部に掛かっていた鉄板蓋をずらすため、持ち上げたところ、冷却水管を撤去できなかった開口部に足を踏み外し、右足に打撲血腫を負った。	44	2	414	1~ 9
			11	取引先ホテルの屋上ではしごに登って給排水管の修繕作業中、はし				10

78	2020	10	12	～	ごから下りる際に踏み外して転落し、右肩関節捻挫、右上腕二頭筋断裂を負った。	48	1	371	～	29
79	2020	10	11	10	工場事務所2階踊り場で屋根修繕作業のため4尺脚立で作業し、下りようとしたところ、足を踏み外して転落し、肋骨を折った。	63	1	371	～	29
80	2020	10	15	14	店舗で、電気室内換気扇交換調査のとき、体の一部が高圧電気機器に接触した際、左半身全体、右手甲、顔、頭に火傷を負った。	48	13	359	～	29
81	2020	10	10	9	工場中、固縛していたレバブロックを緩めたところ、吊り天秤がフォークリフトの爪上を滑り、前方にいた被災者に接触した。被災者は、吊り天秤と後方の配管ラックの間に挟まれ、右下腿に挫滅創を負った。	43	7	611	～	49
82	2020	10	12	11	地上から足場上の作業員へウィンチワイヤーを渡すため、足場の布地（高さ1.2m）に足を掛けて上ろうとしたところ、掴んだパイプが固定されていなかったため、手前に振れ慌てて飛び降りた際に左足を骨折した。	48	19	411	～	29
83	2020	10	15	14	灰の吸引作業中、コーナー部の堆積物を右手で掻き集める際、右腕を吸い込まれ、右前腕外傷性コンパートメント症候群を発症した。	53	7	379	～	29
84	2020	10	15	14	駐車場で脚立に上り防犯カメラの取付作業中、バランスを崩して転落し、右肘・顔面を骨折した。	26	1	371	～	29
85	2020	10	8	7	機材の積み込みを行っていた際、腰に激痛が走り、椎間板ヘルニアを発症した。	36	19	612	～	29
			15		現場事務所で、当該職員が自席近くでふらついて倒れ、顔面を強打					100

86	2020	11	16	して左頬骨陥没骨折を負った。	60	2	921	～	299	
87	2020	11	20 21	製紙会社工場内2階で、DDR本体およびモーター撤去作業が完了し、Iビーム下のH鋼を取り外すためハンドウインチと滑車を使いビームを上部に吊り上げた。その際、ウインチの支えにしていたDDRコンクリート基礎にあるアンカーボルトを止めていたグラウトが割れ、剥がれた部分が当たり、頸椎から出血した。	68	6	911	1～	9	
88	2020	11	13 14	会社内倉庫で大型LEDディスプレイ（110インチ・440kg）の開梱作業中、ディスプレイを箱から取り出す前に転倒防止用の前脚を出す手順をせず、折り畳まれたディスプレイを開いてしまった。そのため、バランスが崩れてディスプレイが倒れ、胸椎、腰椎、仙骨等を骨折した。	33	5	612	～	99	
89	2020	11	14 15	門型クレーン撤去に伴い、玉掛者として従事し、クレーン脚部の揚重作業を行うため、脚部の点検歩廊（高さ約4m）に昇降したとき、クレーン脚部とともに転倒し、下顎を骨折および多発外傷を負った。	26	5	211	1～	9	
90	2020	11	10 11	室内で、L型ワーク机（15kg～20kg）の天板を搬入し、立て掛けようとした際、手が滑り、天板が、外履きを脱いでいた左足親指に落下した。そのとき、左拇趾末節骨を折った。	16	4	379	1～	9	
91	2020	11	15 16	倉庫内で整理中、脚立から下りる際、脚立が足に引っ掛かり、落ちて転倒した。このとき、左腓骨を折り、左足に打撲を負った。	47	1	371	1～	9	
92	2020	11	10 11	作業場で、材料をトラックに積込作業中、材の束（10×2cm、長さ200cm、4枚組）を3束両手に抱え運搬中、束が崩れたため、体のバランスを崩しコンクリート地面に左膝を打ち、左膝蓋骨を折った。	57	2	521	1～	9	
93	2020	11	14 15	工場で、エアホースのエア漏れの対処を行っていた際、残圧抜きを行わずにエアホースバンドを緩めたため、ホースが外れて左手甲に当たり、打撲を負った。	67	6	391	10	～	29

94	2020	11	10 ～ 11	工場内開口部よりチェーンブロックで第1放熱管揚重時、放熱管の設置部に右手小指を挟み骨折した。	52	7	361	1～ 9
95	2020	12	14 ～ 15	自社の元請け現場で引き渡しクリーニングをしているとき、脚立から落下して左肘を強打し骨折した。	42	1	371	1～ 9
96	2020	12	13 ～ 14	工場で、荷物（取替用上蓋）を荷上げ中、開口部に上蓋ノズルが引っ掛かり、ワイヤーを揺すった際、ワイヤーが破断して上蓋が落下し、左足に当たり、左足指を切断した。	58	4	372	100 ～ 299
97	2020	12	15 ～ 16	会社の事務所前で、従業員2名と車の洗車を行っていた。踏台を使いタイヤの上に足を掛けて車の屋根を洗車後、そのまま飛び降り、足をくじいて、右腓腹筋に肉離れを負った。	50	3	417	1～ 9
98	2020	12	16 ～ 17	エレベーターカゴ内で、床養生材（ベニヤ板）を取付作業中、ベニヤ板と床の段差につまずいて転倒し、左腕を骨折した。	36	2	416	1～ 9
99	2020	12	13 ～ 14	スクラップ搬出のため、2枚と4枚に切断しようとクレーン操作を行い一人でコンベア上に仮置きした。5分後、仮置きしたコンベアパンがへの字になっており、そのまま切断すると危ないと判断し、平坦にしようとテレコンで巻き上げた瞬間、片吊り状態となり、コンベアパンが荷崩れを起こし、コンベアとの間に左足が挟まり左拇趾中足骨を折り、左リスフラン関節に損傷を負った。	45	7	521	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。